

学校評価(最終評価)の要点

確かな学力	中間	最終
① 校内研修体制の確立を図る	A	A
児童には、学習は楽しい、勉強がよくわかると思える授業を目指して取り組んだ。		
② 家庭学習の習慣化を目指す	B	B
学年に応じた家庭学習の目標値を設定し、児童の家庭学習の習慣化を目指した。		
③ 学力調査等を有効に活用する	B	A
各種学力調査の結果の分析から課題を把握した。指導の改善に生かしたり、西小タイムや計算力スキルアップ、全校テストなどの取組によって学力向上を図った。		

豊かな心	中間	最終
④ 正しいあいさつや言葉遣いができる	B	B
場に応じたあいさつや言葉遣いができることを目指し、いろいろな場面を想定したあいさつの練習などをした。		
⑤ 進んでボランティア・清掃活動に努める	A	A
掃除の時間に限らず、学校をきれいにしたり、過ごしやすくい学校環境作りに自然と取り組んでいる。		
⑥ 読書活動の充実を図る	A	A
いろいろな図書館活動に取り組み、児童が読書に親しむよう工夫した。		
⑦ きめ細やかな生徒指導体制を構築する	A	A
いじめの認知件数は0件である。今後とも未然防止、早期発見、早期対応に努める。		

たくましい体	中間	最終
⑧ 体力向上プランを生かして体力向上を目指す	B	B
週に3回の3分間走を継続した。縄跳びや鉄棒にもチャレンジするような取組を企画した。		
⑨ 健康教育・安全教育に取り組む	B	B
教育活動中の大けがが1件あった。緊急の事故に対する対応を確認したり、未然に防ぐための安全教育の充実を図る。		

開かれた学校づくり	中間	最終
⑩ 地域の教育力を活用する	A	A
地域行事や公民館行事に積極的に参加している。		
⑪ 地域・保護者・関係機関との連携を図る	B	B
授業参観、PTA行事への出席率がほぼ100%である。相互の連携を大切にして取り組んでいく。		

組織的な学校運営	中間	最終
⑫ 組織体制の確立を図る	B	A
各担当が参画意識を持って学校運営に携わっている。		
⑬ 教育活動の改善を図ることのできる学校評価を目指す	C	B
学校評価(中間)から評価が上向きに変化したことから教育活動に活かされているといえる。		